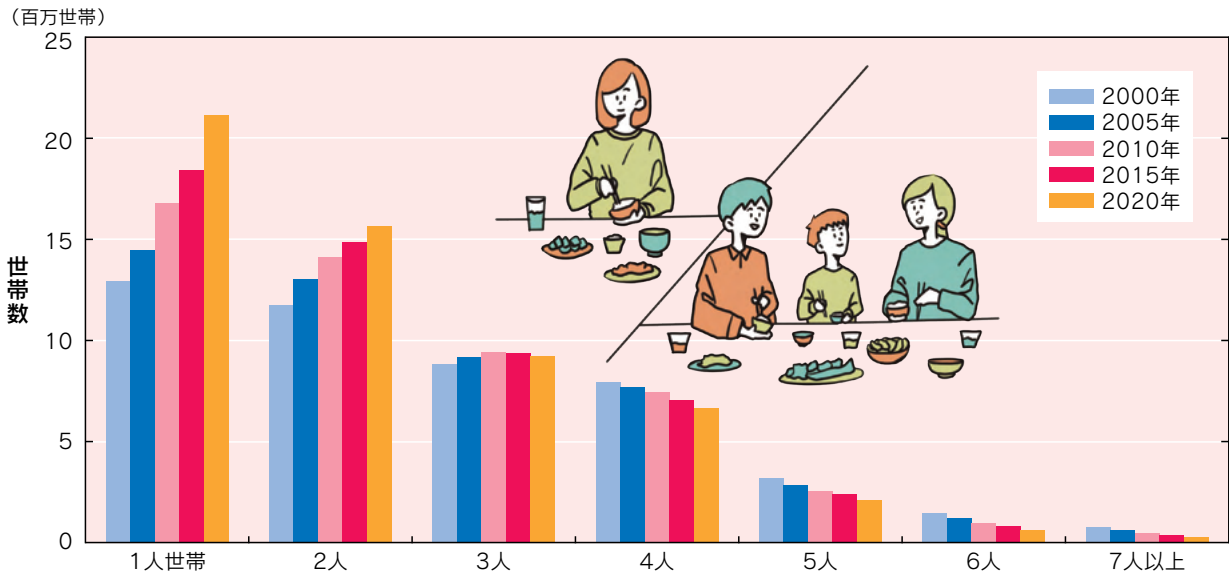


## 2 世帯のすがた

### 世帯人員が1人の世帯が2115万1千世帯と最も多く、一般世帯の約4割を占める

#### 世帯人員別一般世帯数の推移(2000年～2020年)

一般世帯数\*(5570万5千世帯)を世帯人員別にみると、世帯人員が1人の世帯が2115万1千世帯(一般世帯の38.0%)と最も多く、世帯人員が多くなるほど世帯数は少なくなっています。2015年と比べると、世帯人員が2人以下の世帯はいずれも増加しているのに対し、3人以上の世帯はいずれも減少しており、特に5人以上の世帯は10%以上減少しています。



※ 一般世帯とは、施設等の世帯(学校の寮・寄宿舎の学生・生徒、病院・療養所などの入院者、社会施設の入所者、自衛隊の営舎内・艦船内の居住者、矯正施設の入所者などから成る世帯)を除いた世帯  
資料: 国勢調査結果

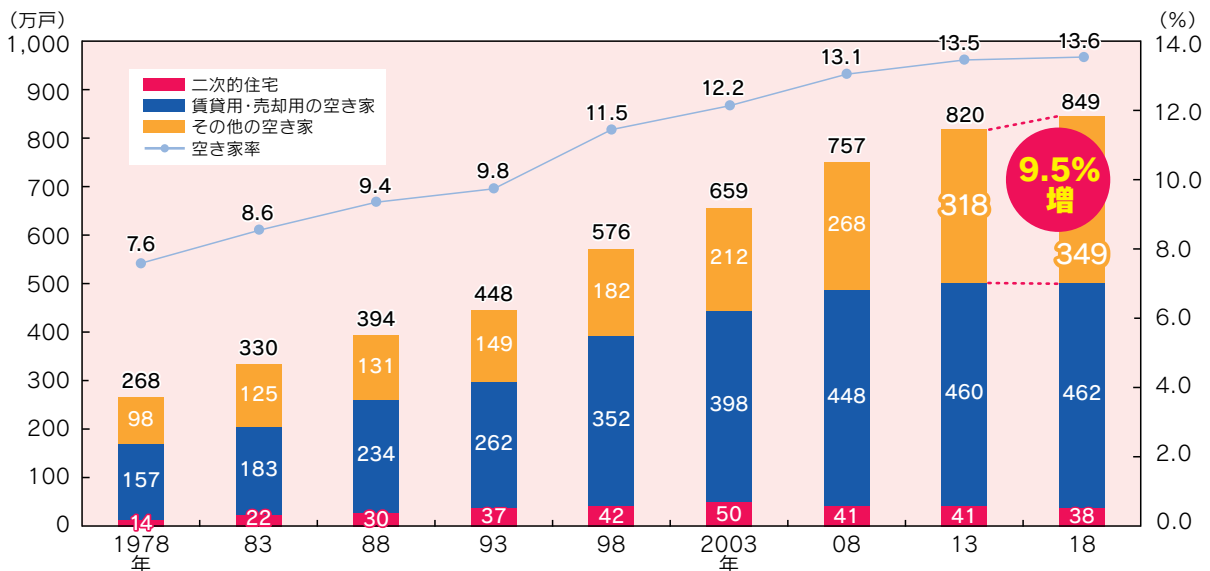
### 空き家率は引き続き上昇

#### 空き家数及び空き家率の推移-全国(1978年～2018年)



空き家率(総住宅数に占める空き家の割合)は一貫して上昇を続けており、2018年は13.6%となっています。

そのうち、「その他の空き家」(居住世帯が長期にわたって不在の住宅や建て替えのために取り壊すことになっている住宅など)は2013年の318万戸から2018年には349万戸(2013年から9.5%増)と、大幅な増加となっています。



資料: 住宅・土地統計調査結果